

NKE

代表取締役社長 中村 道一



強みを磨き開発に挑戦

のつくりメーカーとして新しいモノを年々出していくことが取組の目標。IoTやAIとして販売していく「れんらく」も、F1以外の用途用に開発している。高画質の一人乗り向けに、人感センサなど組み付けずと販売している。独自開発の人口飛躍を搭載したサブト機も開発中。来年こそターゲットしたい。

2019年3月期の業績は、売り上げ、利益とも前年比20%増アップと好調だった。産業体の設備感が良いとに加え、自動化・省力化ニーズが旺盛であることや、当社内の無駄を無くしたオペレーションが業績に貢献している。

また、中国の子会社も自動化機器の生産をグローバルな調達をしながら、完成品を手を自社で調製して行くことで売り上げが大幅に拡大している。

17年4月からスタートとしている3カ年経営計画の今年は最終年になるが、19年度はスタートは「強みを磨く」を掲げた。3年間が期間に達していることから、次の3カ年に繋げるために当社の強みを生かす、も

の転換となる商品発売する。さらに、来年からは「AI・プロシエド」をスタートさせる。AIで何が出来るのかをターゲットの立場から知るを出していく取組も、3、4年でスタートする。

建設を進めている資本社ビルが竣工し、1月7日から移転した。イノベーションと名付け、同じフロアに営業、デサイナ、イナ、メカ系・電子系技術者が一緒に働くことで、密な情報交換や新製品開発のヒントなど、果敢期待している。